

## ルワンダ

### 女性のためのバナナ工芸品製作技術訓練

2003年度第1期訓練終了

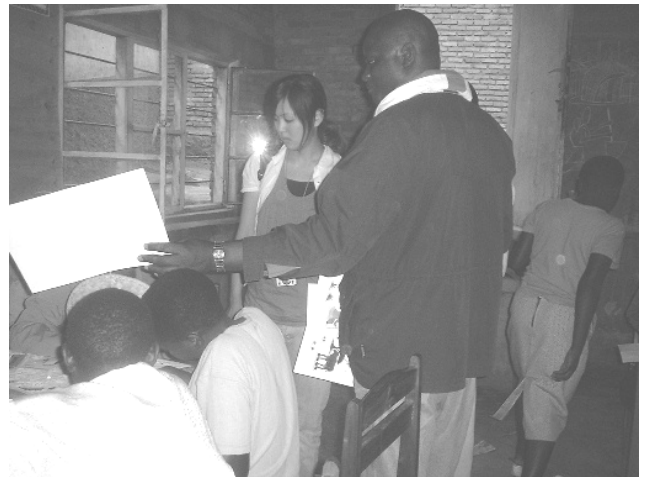
ARCは女性のための洋裁技術訓練を行ってききましたが、5月からは3ヶ月単位のバナナ工芸品製作訓練もはじめました。読み書きのできない女性でも比較的短期で修得でき、設備投資を必要とせず、また、バナナ収穫後のバナナ樹皮という廃品利用で環境に負担をかけないバナナ工芸品製作技術を、現地低所得女性労働団体、ARTCFの協力で実施しています。

3ヶ月間の訓練で、バナナ樹皮を透き、下絵を描き、それに従って樹皮をカットし、貼り付け、グリーティングカードを製作できるまでになります。このカードは、ルワンダの土産物として人



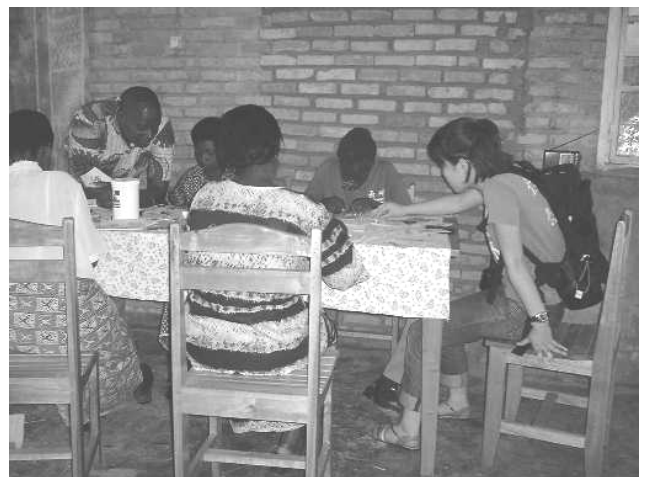
気があり、たくさんのデザインがあるので色々な用途に使えます。ARCも日本で紹介しています。指導は、現地でバナナ工芸全般を修得したポシエン・ムニャンヒンディが指導を行います。風通しが悪く、暑い訓練所では、小さなテーブルを囲み、必死にバナナ樹皮と向き合う女性たちの姿があります。美しさ、繊細さが求められる芸術作品であるため、指導者はデザイン、バランスの正確さを求めます。指導者は、技術訓練だけに留まらず、訓練修了後、いかにそれを収入につなげるのか、どうやって客を見つけるのかも指導しています。ただ客を待つのではなく、大切なのはグリーティングカードのサンプルを持って自分で客を見つけ売り込むことです。事業開始後、10名(10

代8名、20代1名、30代1名)の第1期生が修了し、まもなく第2期も終了しますが、すでに第3期に参加したいという女性たちがたくさんおり、



この事業は多くの女性たちに生きる希望を与えています。

8月18日には、第1期生の修了式が行われました。美しいルワンダの伝統衣装で正装した笑顔の訓練生たちと、娘たちの晴れ姿を見ようとした彼女たちの母親の姿がありました。小さな、小さな修了式ですが、彼女たちが胸に抱えた喜びは、その意味を問うことすら忘れ、卒業式や修了式を迎



えつつある日本の人々よりももっと深いものでした。訓練生とその母親たちは、感謝の言葉、喜びを口々にし、最後には歌って踊ってその思いを私たちに表現してくれました。

女性が経済的自立を達成することで、家計が安

定し、将来設計が可能になり、また子供を学校に行かせることもできます。そうした人々の生活の安定が、巡り巡って、ルワンダ、そして地球全体における平和構築を可能にしていくのだと期待しています。

(報告: 分部真由美ルワンダ事務所インターン)

ARC は訓練を受けた生徒たちの作った「バナナリーフカード」を販売しています。彼女たちが生きる希望を込めて作ったカードをぜひ！



ホームページからも注文できます

[http://www2.gol.com/users/intrband/arc/arcweb\\_japanese/sell/sell\\_zantei.htm](http://www2.gol.com/users/intrband/arc/arcweb_japanese/sell/sell_zantei.htm)

## ルワンダ奨学基金 - 新学期はじまる！

ルワンダでは今年大統領選挙と議会選挙があったため、通常より一月遅れの 10 月から新学期が始まりました。新学期直前の様子を御覧下さい。

新学期に向けて

《9月10日》

この日、高美穂ルワンダ代表とインターンの分部真由美が AMIDOR に行き、新入学の子どもたちの制服の採寸に行きました。採寸を行っているのは、女性のための洋裁訓練所でテイラーをしているリリョーズです。



子どもたちは制服が作ってもらえるということで、採寸されるのがとても嬉しそうでした。みんな座って順番待ちです！



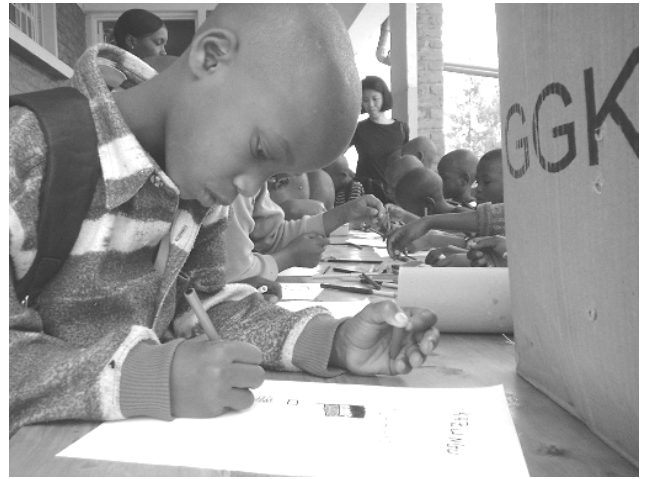
全部で 29 人分の採寸となりました。右で机の上に座っているのがイザイエという男の子で、作業がスムーズにいくように手伝ってくれました。

《10月4日》

10月の新学期に向けて、ルワンダの孤児支援施設 AMIDOR で、支援対象となっている子どもたちに、文房具、制服、カバンを配布しました。また日本にいる ARC ルワンダ奨学基金の支援者の方々に贈るための絵を、子供たちに描いてもらいました。配布は、院長のマリアンの提案で、低学年と高学年に分けて行いました。最初は低学年の子供たちで、まずは整列させ、名前を呼ばれた順に文房具等を受け取ることができるのです。小さな子供たちなので、そわそわガヤガヤとしており、マリアンが棒を持って何とか静めさせていました。



A R C ルワンダ代表の高美穂（中央）が、一人一人に配布する様子です。左にいる女性は今回通訳をしてくれたゴレットティーという女性です。夫を1994年の虐殺時に亡くしており、現在9歳になる娘さんがいます。高は男の子用の制服を子供に手渡しています。



一心不乱に絵を描いている様子です。彼が描いているのはルワンダの国旗のようです。



高とゴレットティーが持っている紙は、子供たちのリストで、制服、文房具、カバンの3種類です。配布された順にリストにチェックを入れていきます。



あまりカラーペンと白いきれいな紙で絵を描く機会がないせいか、本当に真剣です。ペンも取り合い、ペンを使った後もキャップをすることを忘れてしまうくらいです。高やゴレットティーは、低学年の子供たちの名前を、画用紙に書いてあげて手伝っていました。

## ルワンダ奨学基金について 支援金 1口 8000円

1口につきルワンダの子ども1人が1年間学校に通えます！

あなたの支援している子どもの写真があなたのもとに届きます！

年間授業料：約2,000円 文具・制服・カバンなど：約2,500円

その他：送金手数料、フィルム代、現像代、郵送費などの事務経費

\* 支援対象となる子どもたちは、現地の孤児支援団体と協議の上、決定しております

## 書籍紹介「報告書 - ARC ルワンダ奨学基金 2002」

ARC は、94 年のルワンダ内戦・虐殺による孤児、エイズで親を失った孤児たちのための「ARC ルワンダ奨学基金」という奨学支援活動を行っております。2002 年度は孤児院に住む 36 人の子どもたちが小学校に通えることになりました。ARC は子どもたち一人一人の背景や、将来の夢について聞き取りを行い、冊子にまとめました。1 部 500 円（送料別）です。(1)希望部数、(2)氏名、(3)送付先住所、(4)電話番号を記し、事務局までお問合せください（E-mail : intrband@gol.com、FAX : 045-439-4004）。現物が到着した後に、お支払いをお願い致します。（担当：広瀬）

## JICA・CIDA の平和構築ワークショップに高美穂ルワンダ代表が参加

国際協力機構（JICA）とカナダ国際開発庁（CIDA）は、官民合同による平和構築の推進のための取り組みを進めており、去る 9 月 16、17 日、エチオピアのアジスアベバにおいて、JICA、CIDA、日加の平和構築関係 NGO によるワークショップが行われました。日本からは JVC、インターバンドなどの NGO から代表者が出席しており、はじめて参加の打診を受けた ARC からは、ルワンダ代表の高美穂が出席しました。今回はこのワークショップの開催目的と背景について皆様にご報告させていただきます。今後この官民協力の平和構築の取り組みについて、お伝えしていきたいと思っております。

### 1. 開催目的

(1) エチオピア及び周辺諸国で活動する NGO 団体をはじめとする援助機関間で、日加合同平和構築評価調査（グアテマラ、カンボジアにおいて、官民合同で行われたもの）を通じて得た教訓および提言の共有を行うことにより、今後の平和構築支援に係る効果的なアプローチを検討する。

(2) 平和構築分野の日加連携に関しては、参加者間の意見交換を通じて、将来的な日加 NGO 及び CIDA、JICA の共同作業の可能性や具体的な連携の方向性を検討する。

(3) アフリカにおける平和構築支援に関しては、参加者間でアフリカ地域における平和構築支援の現実や工夫、活動内容、連携事業等のグッドプラクティスを共有し、日本・カナダ・アフリカ間 NGO 交流を促進する場を提供することを通じて、今後より一層の政府機関および NGO 間の平和構築支援における連携強化を図る。

(4) また、本ワークショップの結果を、TICADIII 及び DAC 等の国際会議等において日加が発表していくことにより、アフリカの紛争や開発に関する一般国民や国際社会の関心を喚起することをめざす。

### 2. 背景

1999 年 9 月、東京で日加両国の NGO 及び研究機関との協力の下に、外務省、JICA、CIDA の共催により、日加平和構築合同シンポジウム「開発と平和構築」が開催された。同シンポジウムでは、日加双方の平和構築への取り組みや課題が紹介され、また日加双方が開発援助を通じてどのような貢献ができるか、特に平和構築分野で活動を行う様々なアクターのなかでも大きな役割を果たす NGO の今後の取り組みがどうあるべきかについて議論された。同シンポジウムのフォローアップとして、以下の 4 つの分野を中心に具体的方策を検討していくことで合意された。

- (1) 日加の官民合同による平和構築プロジェクトの評価（レビュー）
- (2) 平和構築についての域内ワークショップ
- (3) 日加 NGO の人事交流
- (4) 草の根無償、開発福祉支援等を通じた NGO の活用

アフリカ平和再建委員会（Africa Reconciliation Committee: ARC）

〒222-0026 神奈川県横浜市港北区篠原町2816-22 B1F-A

Tel : 045-439-4002 Fax : 045-439-4004

E-mail : [intrband@gol.com](mailto:intrband@gol.com) ホームページ <http://www2.gol.com/users/intrband/arc>

